



令和9年度

高校ガイド

県立高等学校

県立特別支援学校高等部



鳥取県教育委員会

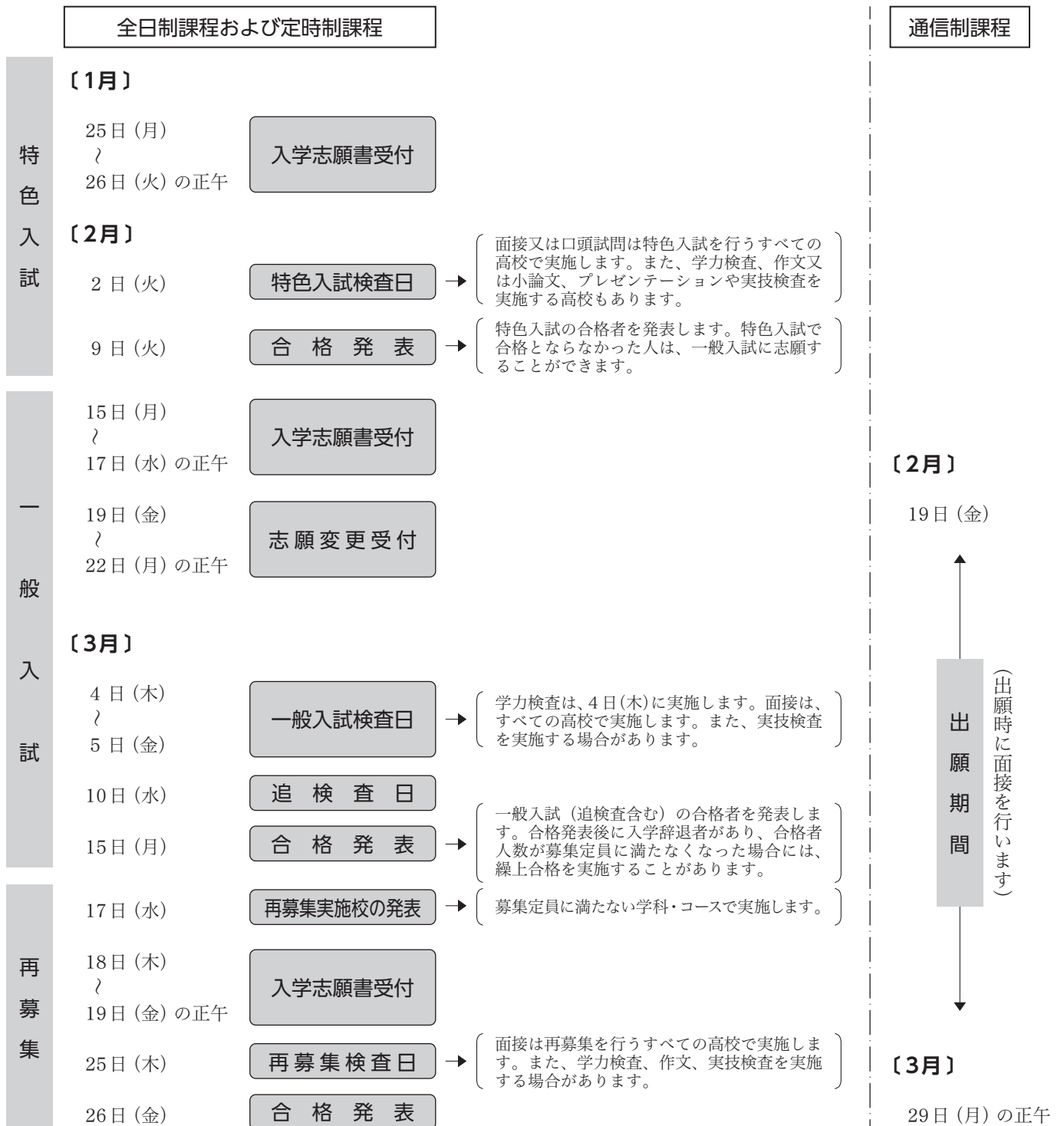
県立高校を受検する皆さんへ

県立高校では、皆さんの様々な能力や適性、興味や関心などに対応できるよう多様な学科やコースを設けています。そして、それぞれの高校、学科又はコースの特色にふさわしい様々な検査内容を組み合わせた高校入試を実施します。この冊子では、皆さんが進学したい高校を選択するための資料として活用していただくため、各高校の学科やコースごとに入試の概要をまとめています。高校で何をしたいのか、将来何になりたいのかなどよく考え、目標をしっかりとって受検する高校を選んでください。

この冊子や、2年時に配布した中学校進路指導資料「輝け！夢」のほか、夏休みなどに実施される高校での体験入学や授業参観などの機会をとらえて、高校選択の資料としてください。

※この冊子では、高等学校入学者選抜を「高校入試」、特色入学者選抜を「特色入試」、一般入学者選抜を「一般入試」、再募集入学者選抜を「再募集」と表している場合があります。

《県立高校入試の流れ》



県立高校入試の選抜方法について

- ◇ 特色入試… 志望理由書、調査書、面接又は口頭試問、学力検査、作文又は小論文、プレゼンテーション、実技検査の結果等を資料として、総合的に判定します。その際、調査書の各教科の評定を合計した合計評定（5×9教科＝45点満点）や評定平均等も資料とします。
- ◇ 一般入試… 調査書、学力検査の合計得点、面接、作文、実技検査の結果等を資料として総合的に判定します。その際、調査書の各教科の評定を合計した合計評定（学力検査を実施しない教科の評定を、学力検査を実施する教科の評定の倍率に対して2倍して算出します。）も資料とします。また、学力検査の各教科の配点は50点で、学力検査実施教科の得点の合計を合計得点とします。なお、選抜にあたっては、原則として第1志望者を優先しますが、第1志望以外の志願者も同等に取り扱った選抜を行う高校もあります。
- ◇ 再募集… 調査書、面接、学力検査、作文、実技検査の結果等を資料として総合的に判定します。その際、調査書の各教科の評定を合計した合計評定も特色入試の場合と同様に資料とします。

面接・口頭試問、作文・小論文、プレゼンテーション、実技検査について

受検生にもっとも期待されるものは、ぜひともその高校で学びたいという意欲や関心です。学力検査では十分にはかることができないその意欲や関心について、話すことや書くこと又は実技によって発揮する機会が、面接や口頭試問、プレゼンテーション、作文や小論文、実技検査です。

面接・口頭試問

面接では、複数の面接官が受検生に、「なぜこの高校を志望したのか」、「入学後はどんなことにがんばりたいのか」といった、受検生自身に関することを中心に質問します。

面接官は、受検生を不安がらせたり動揺させたりせず、和やかな雰囲気で行うように配慮していますので、受検生は普段どおりの自分が出せるように心がけましょう。

口頭試問の場合には、受検しようとする高校や学科等の内容の他に、中学校までの基礎的・基本的な学習内容に関する質問が加えられます。これらの質問も、学習の意欲や適性をみるためのものです。落ち着いて答えることを心がけましょう。

作文・小論文

書くことで自分らしさを表現することが得意な人には、作文を実施する高校があります。

面接と同じように作文も、受検生の高校に対する意欲や関心をみるためのものです。多くの場合は、まずテーマが与えられます。そのテーマに沿った話題を（中学校までの生活や今後の高校生活の中から）取り上げ、それに対する自分なりの考えや感想を書くこととなります。話題の選び方や感想の豊かさ、考えの深さにその人の意欲や関心が表れます。

小論文の場合には、筋道を立てて表現する力が重視されます。小論文においては、与えられたテーマ、課題文及び資料に対して自分の主張や意見をまとめ、なぜそのように考えるのかを誰もが納得できるように順序立てて説明していくことが大切です。主張・意見そのものや話の進め方にその人の思考力や表現力、問題解決能力が表れますので、受検しようとしている高校に対して適性や能力があるかを判断することができます。

プレゼンテーション

学校、学科又はコースに対する関心、目的意識、学習意欲、適性等をみるために、プレゼンテーションを実施する高校があります。

各学校が示すテーマに沿って、自分に取り組んできたことや自分の考えを発表することとなります。また、発表した後、複数の検査官が発表に関する質問をします。

検査官は、受検生を不安がらせたり動揺させたりせず、和やかな雰囲気で行うように配慮していますので、受検生は落ち着いて発表したり答えたりするように心がけましょう。

実技検査

学校、学科又はコースの特性により、実技検査を実施する場合があります。これは、受検生の適性や能力について、面接や作文とは違った基礎体力や基礎的な実技技能といった視点からみる検査です。それぞれの高校によって、中学校の体育などで学習した基礎的・基本的な事柄について、体力診断などを実際に行います。受検する場合には、実技検査の内容をよく確認してください。

鳥取県立高等学校 アドミッション・ポリシー一覧（令和9年度以降入学生用）

アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）について

アドミッション・ポリシーとは、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）とグラデュエーション・ポリシー（育成をめざす資質・能力に関する方針）に基づく教育内容等を踏まえ、入学時に期待される生徒像を示す基本的な方針です。

〔全日制課程〕

学校名	アドミッション・ポリシー
鳥取東高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ●将来に向けての高い志を持ち、本校で学びたいという意欲を持つ生徒を求めます。 ●人とのつながりを大切に、仲間と協力して学びながら自分の可能性をさらに広げたいという意欲を持つ生徒を求めます。 ●学習・部活動（課外活動）・学校行事の3つに全力で取り組み、夢の実現に向けて努力できる生徒を求めます。
鳥取西高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ●勉強だけではなく、様々なことに挑戦する意欲を持ち、互いに切磋琢磨しながら自分の能力を伸ばしたい生徒を求めます。 ●高い志を持ち、目標の実現に向かって努力する生徒を求めます。
鳥取商業高等学校	<p>○将来の夢や目標実現に向けて、あきらめず継続して取り組む態度と実践力を備え、ビジネスシーンで求められる人とのつながりを持つことに意欲的な生徒を求めます。</p> <p>（以下のような生徒）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教科の学習にも、教科学習以外の部活動等にも主体的・計画的に取り組んでいる ●ホームルーム活動や学校行事、生徒会活動等に主体的・協働的に取り組んでいる ●地域や海外に広く目を向け、学校外の活動等に主体的・継続的に取り組んでいる
鳥取工業高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ●ものづくりに興味・関心があり、入学後も意欲を持って積極的に学習に取り組む生徒を求めます。 ●これまでも部活動や課外活動に意欲的に取り組んでおり、入学後も意欲的に活動する意思のある生徒を求めます。 ●夢を持ち、実現に向けて努力することができる生徒を求めます。
鳥取湖陵高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ●情報、農業、家庭の専門分野に強い関心を持ち、自ら進んで学び成長しようとする意欲あふれる生徒を求めます。 ●ICTを活用した情報技術、農産物の生産・加工や造園、衣食住・保育・福祉など、多様な分野での学びに積極的に取り組もうとする姿勢のある生徒を求めます。 ●新しい挑戦を恐れず、主体的に学習へ向き合い、自身の可能性を広げようとする生徒、未来への夢や目標に向かい、努力を惜しまない生徒を求めます。
青谷高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ●本校での学科の特色をよく理解し、意欲的に学習活動に取り組もうとする生徒を求めます。 ●進路実現に向けて、興味・関心がある分野をもっと深めたい生徒を求めます。 ●生徒会活動をはじめ、集団の中で中心となり主体的に活動しようとする生徒を求めます。 ●地域と連携した活動に関心を持ち、地域社会に貢献したいと思っている生徒を求めます。
岩美高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ●入学後も意欲的に学び続ける生徒を求めます。 ●様々な取組をとって「なりたい自分」を創っていかうとする生徒を求めます。 ●社会人になるために必要な教養と忍耐力を意欲的に身に付ける生徒を求めます。 ●部活動や校内外の諸活動に仲間と協働して取り組む生徒を求めます。 ●学校で培った資質や能力を活かして社会に貢献できる生徒を求めます。
八頭高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ●基本的生活習慣及び学習における基礎・基本が確実に身に付いている生徒を求めます。 ●本校を志望する理由が明確で、主体的に学習、探究活動、学校行事、部活動・生徒会活動等に取り組む意志の強い生徒を求めます。 ●高い目標と旺盛な向上心を持ち、自己目標の実現のために努力できる生徒を求めます。 ●他者を尊重し、互いに協力し合いながら学校生活を送ることができる生徒を求めます。

学校名	アドミッション・ポリシー
智頭農林高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ● 学科に対する興味関心が高く、日々の学習や部活動、専門分野の実習や体験活動、地域に貢献する活動に積極的に取り組む意欲のある生徒、将来、関連産業へ従事する意欲のある生徒、学校のルールを守ることができる生徒を求めます。(全科共通) ● 園芸作物や特産品の栽培、食品加工、地域資源の活用、地域との交流活動に興味関心があり、入学後も意欲的に学習に取り組める生徒を求めます。(生産科学科) ● 森林管理や森林環境保全、スマート林業、木材工芸、木造建築、林産物の有効利用に興味関心があり、入学後も意欲的に学習に取り組める生徒を求めます。(森林科学科)
倉吉東高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ● 探究心を持ち、自らの学びを深め、振り返りを行いながら学び続けようとする生徒を求めます。 ● グローカルな視点で様々な課題に向き合い、他者と協働しながら学びを通じて、国内外や地域社会に貢献しようとする生徒を求めます。 ● 学校生活において、自己の可能性を最大限に発揮しようとする意欲があり、豊かな心を持って行動しようとする生徒を求めます。
倉吉西高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ● 志を立て、能力を伸ばすために主体的に学び、チームでの活動や問題解決に積極的に取り組む意欲を持つ生徒を求めます。 ● ボランティア活動や地域イベントへの貢献など、地域に関わる活動に積極的に取り組み、地域社会との連携や地域貢献の意識を持つ生徒を求めます。 ● 持続可能な社会をめざし、地域社会の発展に向けて努力し、行動する意欲を持つ生徒を求めます。
倉吉農業高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ● 部活動や課外活動に意欲的に取り組んだ経験があり、入学後も意欲的に活動する意思のある生徒を求めます。 ● 各科の専門分野に興味・関心があり、入学後も意欲的に学習に取り組める生徒を求めます。 ● 自分の住んでいる地域が好きで、将来地元で地域貢献する意欲のある生徒を求めます。
倉吉総合産業高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的な生活習慣が身に付いており、挨拶、礼儀、規範意識を重んじ、自らを律することができる生徒を求めます。 ● 各科の学習内容に対する興味・関心と明確な進路目標を持ち、3年間を通じてその目標を達成させるために、学習に対して主体的に取り組むことができる生徒を求めます。 ● 学校行事や生徒会活動、部活動等に積極的に取り組むことができる生徒を求めます。 ● 将来、産業界で活躍することをめざし、ものづくりや創造的な学びをとおして、仲間と協働しながら、学習に取り組むことができる生徒を求めます。
鳥取中央育英高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習活動、部活動、生徒会活動等へ意欲がある生徒を求めます。 ● 高い目標を持って、3年間積極的に挑戦できる生徒を求めます。 ● 競技力等において優れた資質能力を有し、部活動において高いレベルで実践できる生徒を求めます。
米子東高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的な物事をよく理解し、高い志を持って、目標の実現にむけて努力する生徒を求めます。 ● 他者を尊重し、社会をよりよくするために自分の能力を最大限発揮するよう何事にも主体的に取り組む生徒を求めます。 ● 学習活動、部活動、学校行事、探究活動等に取り組む、自分自身の考えを発表できる生徒を求めます。 ● よりよい社会を実現するために、社会課題・現代的諸課題の解決に向けて努力し、社会に貢献する行動ができるチャレンジ精神旺盛な生徒を求めます。
米子西高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ● 勉強と部活動の両立をめざし、意欲的な高校生活を送ろうと考えている生徒を求めます。 ● 好奇心旺盛であり、主体的に学ぼうとする学習意欲を持ち、学力の向上をめざしている生徒を求めます。 ● 自己を律しながら、他者を尊重しつつ、仲間とともに規律正しい生活を送ることができる生徒を求めます。 ● 社会の一員としての自覚を持ち、地域に貢献しようとする意欲のある生徒を求めます。

学校名	アドミッション・ポリシー
米子高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の得意なことを伸ばそうとする意欲があり、同時に他者を大切に思いやりのある生徒を求めます。 ●基本的生活習慣を身に付けるとともに、礼節を心得、互いに切磋琢磨しながら自分の能力を伸ばしたい生徒を求めます。 ●周囲の雰囲気にならなれど、しっかりと自分で考えた適切な判断によって行動できる生徒を求めます。 ●社会への関心を持ち、自分の夢を探し、実現に向けて前向きに努力し、チャレンジできる生徒を求めます。
米子南高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ●学校の決まりを守ることができ、協調性があり、学校に活気を与えてくれる生徒を求めます。 ●部活動、生徒会活動、地域活動等に積極的に取り組んだ実績があり、入学後も継続して活動する意欲がある生徒を求めます。 ●将来、商業科・家庭科の専門性を活かして進学または就職しようとする生徒を求めます。特に、調理コースは、調理師資格を取得し、将来、食分野の専門性を活かして進学または就職しようとする生徒を求めます。
米子工業高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ●ものづくりを活かしてより良い社会を実現する意欲を持ち、継続的にものづくりや資格取得などの学習に取り組む意欲のある生徒を求めます。 ●生徒会活動、部活動、地域貢献活動に取り組む意欲のある生徒を求めます。 ●様々な可能性に関心を持ち、主体的に行動し、粘り強く探究する生徒を求めます。
境高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ●本校を志望する動機・理由が明確、適切であり、学校の教育活動に熱心に取り組む、かつ十分な成業が見込める生徒を求めます。 ●学校の教育活動、部活動に積極的に取り組んだ実績があり、また、入学後も継続して活動する意欲を有する生徒を求めます。
境港総合技術高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ●基本的生活習慣が身に付いており、礼儀、マナーを守ることができ、挨拶がしっかりとできる生徒を求めます。 ●自他ともに尊重し、誰に対しても優しく接することができる生徒を求めます。 ●志望する学科の特色を理解し、将来の目標を持って主体的に粘り強く学ぶ生徒を求めます。 ●地域との関わりをとおして、地域への貢献をめざす生徒を求めます。
日野高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ●本校を志望する理由が明確で、自己実現に向けての向上心を持ち、学習活動、部活動に主体的に取り組む生徒を求めます。 ●地域での活動に興味・関心があり、多くの人と関わり、仲間と協力して物事に取り組むことのできる生徒を求めます。 ●学校や社会のルールを守り、他者を大切にできる生徒を求めます。

〔定時制課程〕

学校名	アドミッション・ポリシー
鳥取緑風高等学校	<p>○学ぶ意欲と向上心があり、入学後も継続して意欲的に取り組むことができ、以下の3項目のいずれかに該当する生徒を求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自己の夢や希望の実現に向けて努力できる生徒 ●学習を基礎から学び直し、さらに深めたい生徒 ●卒業後、進学または就職して自立をめざす生徒
倉吉東高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ●自己管理を行い、しっかり学習する意欲ある生徒を求めます。 ●自分の夢や目標に向かって根気強く地道に努力する生徒を求めます。 ●好ましい人間関係を確立し、人間形成の場として学校生活に取り組む生徒を求めます。
米子東高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ●基本的な生活習慣を身に付け、目標の実現に向けて学ぶ生徒を求めます。 ●他者を尊重し、仲間とともに協働的に学習活動に取り組む生徒を求めます。 ●自分自身の能力を最大限に発揮するために主体的に学ぶ生徒を求めます。 ●自分自身の可能性を広げるために挑戦する生徒を求めます。
米子白鳳高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ●自らを厳しく律することができる生徒を求めます。 ●自分の夢の実現に向け、学業に本気で取り組める生徒を求めます。 ●高校卒業の資格を取得したいという強い意志を持っている生徒を求めます。

〔通信制課程〕

学校名	アドミッション・ポリシー
鳥取緑風高等学校	<p>○週1回の面接指導（スクーリング）と定められた回数の学習報告書（レポート）提出で学習を進めていきますので、以下の生徒を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学ぶ意欲と向上心があり、継続的に取り組む姿勢を大切にできる生徒 ●自分自身の生活習慣をコントロールすることができる生徒 ●相手の気持ちを考え、仲間を大切にできる生徒 (働くことを考えている場合) ●社会人としての資質の向上を図ることのできる生徒
米子白鳳高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ●「時間の管理」など自らを厳しく律することができる生徒を求めます。 ●自分の夢の実現に向け、「自学自習」など学業に本気で取り組める生徒を求めます。 ●高校卒業の資格を取得したいという強い意志を持っている生徒を求めます。

各校の「スクール・ミッション」、「スクール・ポリシー」は、以下のURLまたは二次元コードから、ご確認ください

鳥取県教育委員会事務局高等学校課ホームページ
「県立高等学校のスクール・ミッション及びスクール・ポリシーについて」
<https://www.pref.tottori.lg.jp/315424.htm>



令和9年度鳥取県立高等学校募集生徒数及び入学者選抜検査内容等一覧表の見方 (全日制課程及び定時制課程)

1 学校名、募集生徒数等

【大 学 科】 大学科名です。 総合
単位制 は、単位制の総合学科であることを、 普通
単位制 は、単位制の普通学科であることを表します。

【小 学 科】 小学科名又は部名です。() はコース名です。

鳥取緑風高校及び米子白鳳高校の定時制課程は、午前部、午後部、あるいは夜間部に分かれています。

【募集生徒数】 欄内の } は、くくり募集（1学科ごとではなく、複数の学科等をまとめて募集する方法）であることを表します。

2 特色入学者選抜

【出願要件、選抜方法、出願する際の評定の目安等】

- 実用英語技能検定（公益財団法人日本英語検定協会）は「英検」、日本漢字能力検定（公益財団法人日本漢字能力検定協会）は「漢検」、実用数学技能検定（公益財団法人日本数学検定協会）は「数検」と表しています。
- 「出願する際の評定の目安」を示している場合、その高校に入学後の学習を円滑に進めるための目安として示しています。なお、評定については、2学期制の中学校等の受検生は前期の通知表を参考に、3学期制の中学校等の受検生は1、2学期の通知表を参考にし、自ら判断して出願します。合計評定は、対象となる教科の評定の合計数、評定平均は、対象となる教科の評定の合計数を対象となる教科数で除した数値（小数点第2位を四捨五入）です。

(例) 国語3、社会3、数学4、理科4、外国語5、音楽3、美術3、保健体育4、技術・家庭3の9教科の場合
 $(3+3+4+4+5+3+3+4+3) \div 9 = 32 \div 9 = 3.5555 \dots$
 →この場合の合計評定は「32」、評定平均は「3.6」となります。

【調査書で重視する教科】

- 調査書の合計評定算出にあたって、調査書で重視される教科を示しています。

【実施検査内容】

- 特色入学者選抜を行うすべての高校で面接又は口頭試問を実施します。
- 「●」が、各校が実施する検査内容です。
- 「学力検査」の●の下の()は、実施する学力検査の教科です。(国)は国語、(数)は数学、(社)は社会、(理)は理科、(英)は英語を表しています。

3 一般入学者選抜

【学力検査実施教科】

学力検査は、国語・社会・数学・理科・英語（聞き取り検査も実施します）の5教科で実施します。

ただし、鳥取緑風高校、倉吉東高校、米子東高校及び米子白鳳高校の定時制課程は、3教科で実施します。

【調査書の合計評定：学力検査の合計得点】

- 調査書の合計評定は、学力検査を実施する教科の評定に対し、学力検査を実施しない教科の評定を2倍して算出します。

(例) 全日制課程で受検教科数が5教科の場合の合計評定

第3学年で学習する*各教科の調査書の評定（5段階）

5点 × 5教科 × 3

↑ 学力検査を実施する教科数

+

学力検査を実施しない教科数

5点 × 4教科 × 6

↑ 学校が決めた倍率

= 195

↑

調査書の合計評定

学力検査を実施しない教科の評定は、実施する教科の倍率に対して必ず2倍する

*各教科とは「国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語」をいう。

(例) 全日制課程で受検教科数が5教科の場合の合計評定

5点×5教科×2 + 5点×4教科×4 = 130点

5点×5教科×3 + 5点×4教科×6 = 195点

5点×5教科×4 + 5点×4教科×8 = 260点

(例) 定時制課程で受検教科数が3教科の場合の合計評定

5点×3教科×2 + 5点×6教科×4 = 150点

「調査書の合計評定」：「学力検査の合計得点」のおよその比率

調査書	学力検査	比率
130	250	= 3.4 : 6.6
195	250	= 4.4 : 5.6
260	250	= 5.1 : 4.9

- 学力検査の合計得点は、250点満点（50点×5教科）となります。
- 「調査書の合計評定」：「学力検査の合計得点」の比率は8：2から2：8の範囲内としています。

【その他の検査内容】

一般入学者選抜では、すべての高校で面接を実施します。

令和9年度鳥取県立高等学校募集生徒数及び入学選抜検査内容等一覧表

<全日制課程>

※「うち県外生徒数」欄の「*」は、県外生徒数の上限を定めなことを示している。

学校名	大学科 普通 (単位制)	小学科 (コース)	募集 生徒数 (人)	うち 県外 生徒数 (人以内)	募集 人員 (人以内)	うち 県外 生徒数 (人程度)	特色入学選抜		実施検査内容							一般入学選抜		
							重視 する 教科	学力 検査	面接 個人	面接 集団	口頭 試問	作文	小 論 文	プ レ ゼ ン テ ィ ョ ン	実 技 検 査	学力 検査 実施 教科	調査書 の 合計 評定	その 他の 検査 内容
鳥取東	普通 (単位制)	普通	280	28	15	2	<p>出願要件、選抜方法、出願する際の評定の目安等</p> <p><出願要件> ○次の1を満たし、かつ2の(1)または(2)のいずれかに該当する者 1 高い英語運用能力を有する者 英検準2級以上、またはそれと同等の検定・資格・スコアを有すること。 2 理数分野または探究活動等において優れた実績を有する者 (1) 中学校3年間において、理系分野(理科、数学、情報)に関する、都道府県以上の範囲を対象とするコンクール等で受賞した者。なお、グループによる受賞の場合は、その取組において主要な役割を担い、取組に大きく貢献した者に限る。 (2) 中学校3年間において、探究活動(社会課題の解決や地域貢献等)に主体的に取り組む、その内容を外部に向けて発表した経験や実績を有する者。なお、グループ活動の場合は、その取組において主要な役割を担い、取組に大きく貢献した者に限る。</p> <p><選抜方法> ○志望理由書、調査書、自己推薦書(学校が定める様式。中学校で出場した理系分野のコンクール等から得られたもの及び今後の目標について、または、中学校で行った探究活動及び将来の目標について記載する。中学校長の内容確認を求める)、学力検査(数学)、個人面接及びプレゼンテーションの結果等を資料とし、総合的に判定します。 <出願する際の評定の目安> ○第3学年の9教科のうち、5教科(外国語、理科、数学を含む)の評定において4以上</p>	無	● (数)	●						5教科	130 : 250	面接
鳥取西	普通 (単位制)	普通	280	28	10	1	<p><出願要件> ○以下の(1)～(3)のいずれかに該当する者 (1) 全国的または中国地区等レベルの大会やコンクールの大会やコンクールなどで入賞相当以上の成績を挙げた者 (2) 中学校で履修した教科等に係る資格試験や検定等において卓越した能力を示したり、資格を得たりした者 (3) 研究活動や社会貢献活動等において主導的な役割を果たし、顕著な成果を挙げた者 (注)例えば、英検2級以上、数検準1級以上、漢検準1級以上相当とする。 <選抜方法> ○本校の目指す教育や求める生徒像を踏まえ、志望理由書、自己推薦書、実績等を証明する書類、調査書、個人面接及びプレゼンテーションの結果等を資料とし、総合的に判定します。 <出願する際の評定の目安> ○第3学年の各教科の評定において、次の(1)、(2)の両方を満たす者 (1) 9教科の評定平均が4.0以上 (2) 5教科(国語、社会、数学、理科、外国語)の評定においては、すべて4以上 <備考> ○県教育委員会が定める志望理由書とは別に、学校が定める自己推薦書とともに、出願要件にある(1)～(3)の実績等を証明する書類の提出を求めます。</p>	無		●					5教科	130 : 250	面接	

※「うち県外生徒数」欄の「*」は、県外生徒数の上限を定めなことを示している。

学校名	大学科	小学校科 (コース)	募集生徒数 (人)	うち県外 生徒数 (人以内)	募集人員 (人以内)	うち県外 生徒数 (人程度)	特色入学者選抜				一般入学者選抜				
							重視する教科	学力検査 個人	面接 個人	口頭試問 個人	作文	小論文	プレゼンテーション	実技検査	学力検査 実施教科
鳥取商業	商業 (単位制)		152	*	60	*	<p>出願要件、選抜方法、出願する際の評定の目安等</p> <p><出願要件> ○次の1～3のすべてを満たす者 1 ビジネスを学ぶ理由が明確であり、学習内容の定着（検定受験、資格取得等）に熱意のある者 2 基礎学力を備え、全ての教科の学習に主体的に取り組んでいる者 3 次の(1)または(2)のどちらかに当てはまる者 (1) 中学校3年間の校内外の体育的・文化的活動において、個人または団体（大会の登録選手）で県大会ベスト4以上（もしくは同程度以上）や県選抜に選ばれたなどの優れた成績を収め、高校入学後もその経験を生かして学校生活に積極的に取り組む強い意志がある者 (2) (1)にはあてはまらないが、中学校3年間に、校内外で、主体的かつ継続的に取り組んだ活動等があり、そのことについて具体的に説明でき、高校入学後もその経験を生かして学校生活に積極的に取り組む強い意志がある者</p> <p><選抜方法> ○志望理由書、調査書、実施検査内容、活動実績を証明する書類等を資料とし、総合的に判定します。 ○出願する際の評定の目安 ○第3学年の9教科の評定合計が30程度 ○備考 ○県教育委員会が定める志望理由書の本文については、次のことを記載してください。 ●出願要件1及び3(1)または(2)の具体的な内容 ●県教育委員会が定める志望理由書の「2 出願要件に関する具体的記録」欄に、出願要件3について以下のことを記載してください。 ●(1)については、大会名及び成績等（主催者名も記入すること） ●(2)については、活動内容、活動歴及び取り組み姿勢等 ○出願要件3(1)で出願する者は、原則として活動・成績を証明できる書類等を提出してください。証明する書類等は以下の例を参考にし、出願者本人の活動が具体的に確認できるものを準備してください。 例：「大会プログラム掲載のメンバー表」・「主催者公表の結果表」・「新聞記事」・「競技団体発行の証明書」などの写し</p>	無	●	●	●	●	5教科	195： 250	面接
鳥取工業	工業	機械 電気 情報工学 建設工学	152	*	76	*	<p><出願要件> ○学習成績が優れ、学習・資格取得に積極的に取り組む意欲のある者 <選抜方法> ○志望理由書、調査書、学力検査、面接検査等を資料とし、総合的に判定します。 <出願する際の評定の目安> ○次の(1)、(2)の両方に該当する者 (1) 第3学年の9教科の評定平均が2.8以上 (2) 第3学年の数学の評定が3以上</p>	無	● (教)	●	●		5教科	195： 250	面接

※「うち県外生徒数」欄の「*」は、県外生徒数の上限を定めなことを示している。

学校名	大学科	小学校科 (コース)	募集生徒数 (人)	うち県外 生徒数 (人以内)	うち 県外 生徒数 (人程度)	スポーツ活動特色選抜	特色入学者選抜				一般入学者選抜									
							重視する教科	学力検査	面接 個人	面接 集団	口頭試問 個人	口頭試問 集団	作文	小論文	プレゼンテーション	実技検査	学力検査 実施教科	調査書の 合計評定： 学力検査の 合計得点	その他の 検査内容	
八頭 普通 (単位制)	普通 普通	普通	240	*	*	スポーツ活動特色選抜	<p><出願要件> ○本校が指定する以下の競技種目の部活動またはクラブチーム等(以下「指定競技」という)において中学校の間活動しており、次のA及びBを満たす者 【男子】陸上競技(駅伝を含む)、バレーボール、ソフトテニス、サッカー、柔道、剣道、ホッケー、硬式野球、バスケットボール、軟式野球 【女子】陸上競技(駅伝を含む)、バレーボール、ソフトテニス、柔道、ホッケー ※下宿等が必要な者は、指定競技のうち陸上競技(男子・女子)、柔道(男子)、剣道(男子)、ホッケー(男子・女子)、硬式野球(男子)のいずれかかの競技とする。 A 当該指定競技を高校入学後も3年間継続して積極的に取り組む意思が強い者 B 次の1または2に該当する者 1 次の(1)～(4)のいずれかに該当する者 (1) 全国大会またはプロック大会に選手として出場した者 (2) 鳥取県大会において、選手として団体ベスト8以上、個人8位以上の実績をあげた者または県外の大会でこれと同等の成績と判断できる実績をあげた者 (3) 鳥取県東部地区大会、中部地区大会または西部地区大会において、選手として団体2位以上、個人4位以上の実績をあげた者または県外の地区大会でこれと同等の成績と判断できている実績をあげた者 (4) 県以上の規模の選抜チームに選出された者 2 指定競技の中心的存在として活躍し、その充実・発展に努めた者</p> <p><選抜方法> ○実施検査内容、志望理由書、調査書、学校が定める自己PRに関する書類等を資料とし、総合的に判定します。 <出願する際の評定の目安> ○第3学年の9教科の評定平均が3.3以上 <備考> ○出願要件Bの1の(1)～(4)について、調査書に記載のない実績があれば、それを証明する資料の提出を求めます。(その事実を学校長が証明することで実績を証明する資料の提出に替えることを認めます。)</p>	● (国・数・英)										5教科	195： 250	面接
							特別活動特色選抜													
					20	*	<p><出願要件> ○次の(1)～(4)のいずれか以上に該当する者 (1) 文化的活動の県大会レベル以上の大会や発表会において、入賞以上の成績をおさめた者 (2) 級の目安が明示されている資格試験で、中学校卒業程度を超えるレベルの資格・検定を取得している者 (3) 校外の委員会への参加や探究活動、ボランティア活動に積極的に取り組むなど、意欲的に課外活動に取り組んだ者 (4) 校内活動(生徒会活動、学級活動、部活動(運動部、文化部を問わない)等)または校外のクラブチーム、各種活動サークル等の中心的存在として、その充実・発展に努めた者</p> <p><選抜方法> ○実施検査内容、志望理由書、調査書、学校が定める自己PRに関する書類等を資料とし、総合的に判定します。 <出願する際の評定の目安> ○第3学年の9教科の評定平均が3.5以上 <備考> ○出願要件の(1)～(3)について、調査書に記載のない実績があれば、それを証明する資料の提出を求めます。(その事実を学校長が証明することで実績を証明する資料の提出に替えることを認めます。)</p>	● (国・教・英)												

※「うち県外生徒数」欄の「*」は、県外生徒数の上限を定めなことを示している。

学校名	大学科	小学科 (コース)	募集 生徒数 (人)	うち 県外 生徒数 (人以内)	募集 人員 (人以内)	うち 県外 生徒数 (人程度)	特色入学者選抜				一般入学者選抜						
							出願要件、選抜方法、出願する際の評定の目安等	重視する教科	学力検査	面接	口頭試問	作文	小論文	プレゼンテーション	実技検査	学力検査 実施教科	調査書の 合評定: 学力検査の 合計得点
日野	総合 (単位制)		38	*	19	*	<p>出願要件、選抜方法、出願する際の評定の目安等</p> <p><出願要件> ○次の1～3のいずれかに該当する者 1 部活動、校外の文化的・体育的活動に積極的かつ継続的に取り組んだ者 2 生徒会活動または委員会活動で中心的役割を担い、各活動に積極的に参加した者 3 ボランティア活動または地域の行事に積極的に参加するなど、意欲的に課外活動に取り組んだ者</p> <p><選抜方法> ○志望理由書、調査書、作文、面接、プレゼンテーションの結果をもとに、総合的に判定します。</p> <p><出願する際の評定の目安> ○なし</p>	無	●	●	●	●		5教科	260 : 250	面接	
小計			3,614		969												

令和9年度鳥取県立高等学校募集生徒数及び入学者選抜検査内容等一覽表

＜定時制課程＞

学校名	大学科	小学科 (コース)	募集 生徒数 (人)	特色入学者選抜		実施検査内容							一般入学者選抜						
				出願要件、選抜方法、出願する際の評定の目安等	重視する教科	学力検査	面接		口頭試問	作文	小論文	プレゼンテーション	実技検査	県外通学生徒募集実施	学力検査 実施教科	調査書の 合計評定： 学力検査の 合計得点	その他の 検査内容		
							個人	集団										個人	集団
鳥取緑風	総合 (単位制)	【午前】	70	14	—	—	—	—	●	●	—	—	—	—	○	3教科 国語・ 数学・ 英語	150： 150	面接	
		【午後】																	—
		【夜間】	20	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
倉吉東	普通 (単位制)	普通	40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3教科 国語と他 の4教科 から志願 者が2教 科を指定	150： 150	面接	
米子東	普通 (単位制)	普通	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	3教科 国語と他 の4教科 から志願 者が2教 科を指定	150： 150	面接	
米子白鳳	総合 (単位制)	【午前】	60	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3教科 国語・ 数学・ 英語	150： 150	面接	
		【午後】																	—
小計			220	18															

＜通信制課程＞

学校名	大学科	小学科	募集生徒数 (人)	選抜方法
鳥取緑風	普通 (単位制)	普通	約80	面接・書類審査
米子白鳳	普通 (単位制)	普通	約80	面接・書類審査
小計			約160	

≪県立高校入試に係る個人情報を開示します≫

- ☆ **開示する個人情報** … 調査書、学力検査の得点、面接、口頭試問、作文、小論文、プレゼンテーション、実技検査の結果を開示します。
- ☆ **開示の時期** … 「特色入試」・「一般入試」は、一般入試の合格発表以後に開示します。
「再募集」は、再募集の合格発表以後に開示します。
- ☆ **開示の手続**
- 1 開示請求できる者 …………… すべての受検者が請求できます。代理人（保護者等）が請求することもできます。
 - 2 開示請求の受付場所 …………… 各自が受検した県立高校、県教育委員会事務局教育総務課、東部・中部・西部の各教育局のいずれでも受け付けます。
 - 3 開示する場所 …………… 各自が受検した県立高校で、開示決定（通常、請求後2週間程度）後に開示します。
 - 4 開示請求の際必要な書類 …… 受検証、学生証、各種健康保険の資格確認書、個人番号カード、運転免許証などの本人又は代理人であることを証明する書類が必要です。なお、書類に写真が貼付されていない場合は、複数の書類の提出を求めます。また、代理人である場合には、加えて戸籍謄本・抄本などが必要になります。
- ★ **即時開示** … 上記の方法とは別に、合格発表から1か月間は、学力検査の得点及び面接、口頭試問、作文、小論文、プレゼンテーション、実技検査の結果について、各自が受検した県立高校に対して、即時開示を請求することができます。これは、本人が、即時開示請求書を記入して提出し、本人確認を行った上で、その場で開示を行うものです。

県立高等学校連絡先一覧

【全日制課程】

学校名	郵便番号	住所	TEL	FAX
鳥取東高等学校	680-0061	鳥取市立川町5丁目210番地	0857-22-8495	0857-22-8497
鳥取西高等学校	680-0011	鳥取市東町2丁目112番地	0857-22-8281	0857-22-7324
鳥取商業高等学校	680-0941	鳥取市湖山町北2丁目401番地	0857-28-0156	0857-28-0157
鳥取工業高等学校	689-1103	鳥取市生山111番地	0857-51-8011	0857-51-8499
鳥取湖陵高等学校	680-0941	鳥取市湖山町北3丁目250	0857-28-0250	0857-28-0105
青谷高等学校	689-0595	鳥取市青谷町青谷2912番地	0857-85-0511	0857-85-0512
岩美高等学校	681-0003	岩美郡岩美町浦富708番地2	0857-72-0474	0857-72-3445
八頭高等学校	680-0492	八頭郡八頭町久能寺725番地	0858-72-0022	0858-72-0113
智頭農林高等学校	689-1402	八頭郡智頭町智頭711番地1	0858-75-0655	0858-75-0654
倉吉東高等学校	682-0812	倉吉市下田中町801番地	0858-22-5205	0858-22-5206
倉吉西高等学校	682-0925	倉吉市秋喜20番地	0858-28-1811	0858-28-1812
倉吉農業高等学校	682-0941	倉吉市大谷166番地	0858-28-1341	0858-28-1342
倉吉総合産業高等学校	682-0044	倉吉市小田204番地5	0858-26-2851	0858-26-2852
鳥取中央育英高等学校	689-2295	東伯郡北栄町由良宿291番地1	0858-37-3211	0858-37-3212
米子東高等学校	683-0051	米子市勝田町1番地	0859-22-2178	0859-22-2170
米子西高等学校	683-8512	米子市大谷町200番地	0859-22-7421	0859-22-7423
米子高等学校	683-0023	米子市橋本30番地1	0859-26-1311	0859-26-1312
米子南高等学校	683-0033	米子市長砂町216番地	0859-33-1641	0859-33-1642
米子工業高等学校	683-0052	米子市博労町4丁目220番地	0859-22-9211	0859-22-9212
境高等学校	684-8601	境港市上道町3030番地	0859-44-0441	0859-44-0443
境港総合技術高等学校	684-0043	境港市竹内町925番地	0859-45-0411	0859-45-0413
日野高等学校	689-4503	日野郡日野町根雨310番地	0859-72-0365	0859-72-0366

【定時制課程】

学校名	郵便番号	住所	TEL	FAX
鳥取緑風高等学校	680-0945	鳥取市湖山町南3丁目848	0857-37-3100	0857-28-0071
倉吉東高等学校	682-0812	倉吉市下田中町801番地	0858-22-2269	0858-22-5206
米子東高等学校	683-0051	米子市勝田町1番地	0859-22-2313	0859-22-2170
米子白鳳高等学校	689-3411	米子市淀江町福岡24	0859-37-4020	0859-37-4021

【通信制課程】

学校名	郵便番号	住所	TEL	FAX
鳥取緑風高等学校	680-0945	鳥取市湖山町南3丁目848	0857-37-3100	0857-28-0071
米子白鳳高等学校	689-3411	米子市淀江町福岡24	0859-37-4020	0859-37-4021

県立高校入試 Q & A

Q 1 同時に、二つの高校を志願できますか。

A : 同時に、複数の学校を志願することはできません。ただし、同一校に、他の課程又は学科やコース等がある場合は、順位をつけて志望することができます。

なお、志願変更期間において、1回に限り、他の学校、同一校の他の課程又は学科やコース等に変更することができます。ただし、第1志望の変更を伴わない志願変更をすることはできません。

Q 2 特色入試と一般入試を両方受検することができますか。

A : 特色入試に合格した場合には、辞退しない限り一般入試を受検することはできません。

しかし、特色入試で不合格となった場合には、特色入試を受検した高校、それ以外の高校のどちらでも一般入試を受検することができます。

Q 3 自己申告書とはどういうものですか。

A : 自己申告書は、長期欠席や、保健室登校などをしたことのある生徒が、学校に行けなかった理由や高校で学びたいこと、将来の希望など志願する高校に理解してほしい自分の思いを書いて高校に提出するものです。高校入試にあたって、長期欠席や、保健室登校などをしたことのある生徒が抱く必要以上の不安やあきらめなどを和らげることをねらいとしています。自己申告書の提出を受けた高校は、検査にあたって生徒個々の事情に応じた配慮をすることができます。

Q 4 保護者の転勤の関係で県外の公立高校を受検したいのですがどのようにすればよいですか。また、県外からでも鳥取県の県立高校を受検することはできますか。

A : 保護者の転勤等の関係で他の都道府県へ引っ越しをすることとなった場合は、早めに中学校等の担任の先生に相談してください。入試の手続きや仕組みは各都道府県によって異なりますので、転居先の都道府県教育委員会に連絡してどのような手続きが必要か確認してください。

なお、令和9年度入試からは、すべての全日制課程において、鳥取県内への居住地の変更の有無を問わず、県外から鳥取県の県立高校を受検することが可能となりました。定時制課程と通信制課程においては、他の都道府県から鳥取県へ引っ越しをする場合、県外からでも鳥取県の県立高校を受検することができます。いずれの場合も、受検することとなった際には、鳥取県教育委員会事務局高等学校課までご連絡ください。入学志願書の他、受検するために必要な書類を送付します。

また、「県外の公立高校を受検する場合」、「県外から鳥取県の県立高校を受検する場合」のいずれの場合も、他の都道府県の公立高校と鳥取県の県立高校の両方に出願し、受検することはできません。

Q 5 県外生徒募集について教えてください。

A : 令和9年度入試から、すべての全日制課程において、県外生徒の出願を認めることとしており、原則、県外生徒の合格者に人数の制限は設けないこととしています。ただし、県教育委員会が指定する高校（学科及びコース）においては、県外生徒数を募集生徒数の10%以内として上限を定めています。

県立特別支援学校高等部を受検する皆さんへ

現在、県内には8つの県立特別支援学校があり、いずれの特別支援学校にも高等部が設置されています。

鳥取盲学校	… 視覚障がいのある生徒を対象とした学校です。
鳥取聾学校	… 聴覚障がいのある生徒を対象とした学校です。
鳥取養護学校、皆生養護学校	… 肢体不自由、病弱のある生徒を対象とした学校です。
倉吉養護学校	… 知的障がい、肢体不自由のある生徒を対象とした学校です。
白兔養護学校、米子養護学校	… 知的障がいのある生徒を対象とした学校です。
琴の浦高等特別支援学校	… 知的障がいのある生徒を対象とした高等部だけの学校です。

それぞれの学校が、障がいの種類と程度に応じた施設、設備、教育内容を用意してきめ細かく指導し、卒業後の自立と社会参加を目指して必要な知識、技能、態度を身に付ける教育を行っています。

高等部へは特別支援学校の中学部の生徒はもちろん、障がいの程度によっては中学校を卒業した生徒も入学することができます。高等部では、進学や就職に必要な力を養うとともに、各種の行事や交流活動を行い、学校生活の充実にも努めています。

以下では、各学校の特色を紹介していますので、自分に合った学校を選択するための資料としてください。また、詳しいことは、各学校の高等部生徒募集要項でご確認ください。(8月中旬に発行予定)

琴の浦高等特別支援学校については、21ページをご覧ください。

県立特別支援学校高等部受検について（琴の浦高等特別支援学校を除く。）

(1) 受検までの日程

内容	入学志願書受付	学力検査 諸検査・面接実施日	合格発表
日程	令和9年2月15日(月) ～2月17日(水)	令和9年3月4日(木)	令和9年3月15日(月)

○受検予定者は、9月末までに必ず最低1回体験入学に参加してください。

○出願資格を有し、入学を希望する者は、全員の入学を許可しているため、再募集は実施しません。また、インフルエンザ等で検査等を欠席した場合は、追検査を実施します。検査日は各特別支援学校が決定します。

(鳥取盲学校保健医療科は、学力検査等を行い、定員に満たない場合は、再募集を実施します。)

(2) 各校の特色と募集学科について

学校名 (障がい種)	学校の特色 〔所在地、電話・FAX番号〕	学科名	障がい区分	提出書類
鳥取盲学校 (視覚障がい)	見にくい、見えない方一人一人のニーズにきめ細やかに対応し、自立に向けた教育を行います。 普通科単一障がい学級では、高等学校に準ずる教育を行い、大学等への進学や就職を目指します。普通科重複障がい学級では、自立活動や教科等の学習を通して、自立して豊かな生活を目指します。職業学科の保健医療科では、あん摩マッサージ指圧師の国家資格取得と、この資格を生かした就職の実現を目指します。 通学が困難な方は、寄宿舎を利用することができます。 〔所在地：鳥取市国府町宮下 1265 電話：0857(23)5441 FAX：0857(23)5442〕	保健医療	単一障がい	入学志願書 調査書
		普通	単一障がい	
			重複障がい	
鳥取聾学校 (聴覚障がい)	聴覚障がいのある生徒の自立と社会参加を目指し、一人一人の「きこえ」に配慮したきめ細やかな教育を行います。普通科(単一障がい学級)、産業工芸科、生活デザイン科では、いずれも高等学校に準ずる教育を行い、確かな学力を身につけながら、大学・専門学校への進学や企業就職など、一人一人の希望に沿った進路の実現を目指します。その中で、普通科(単一障がい学級)は座学を中心に幅広く学んで可能性を広げ、産業工芸科や生活デザイン科は授業や実習を通して将来の仕事に直結する専門的な技術を身につけます。また、普通科(重複障がい学級)では、将来、自立して豊かな生活を送るための教科学習や自立活動等を行います。 〔所在地：鳥取市国府町宮下 1261 電話：0857(23)2031 FAX：0857(27)8606〕	普通	単一障がい	入学志願書 調査書 注1)
		産業工芸	重複障がい	
			生活デザイン	

学校名 (障がい種)	学校の特徴 〔所在地、電話・FAX番号〕	学科名	障がい区分	提出書類
鳥取養護学校 (肢体不自由、 病弱)	<p>肢体不自由教育と病弱教育を行う学校です。単一障がい学級（普通コース、総合コース）では、高等学校に準ずる教育を行い、基礎学力の定着と進路実現を図ります。重複障がい学級（生活コース、ふれあいコース）では、自立活動や教科等の学習を通して、人とかかわる力や自己表現の力を高めます。</p> <p>〔 所在地：鳥取市江津 260 電 話：0857 (26) 3601 FAX：0857 (27) 3207 〕</p>	普通	単一障がい	入学志願書
			重複障がい	調査書 注2)
皆生養護学校 (肢体不自由、 病弱)	<p>県立総合療育センターに隣接し、肢体不自由教育と病弱教育を行う特別支援学校です。一人一人の生徒が、今もこれからも、個々の可能性を伸ばし、よりよく生き抜く力の育成を目指して教育活動に取り組んでいます。単一障がい学級は、高等学校に準ずる教育を行い、興味・関心・進路希望等に応じてコース制を導入しています。重複障がい学級は、自立活動や知的障がいの教科等の学習を行います。</p> <p>〔 所在地：米子市上福原 7 丁目 13 - 4 電 話：0859 (22) 6571 FAX：0859 (38) 3485 〕</p>	普通	単一障がい	入学志願書
			重複障がい	調査書
			訪問 (重度・重複障がい)	注2)
白兔養護学校 (知的障がい)	<p>「人と関わりながら自立と社会参加に向けて努力する生徒を育てる」ことを学校目標に、一人一人の実態に応じた学習を行っています。作業学習や産業現場等における実習など働くために必要な力の育成に努めています。また、販売活動「白兔よろずや」などを通して、地域や地域の人と関わる活動を行っています。訪問学級では、人との関わりを楽しむ生活の基盤づくりに努めています。</p> <p>〔 所在地：鳥取市伏野 1550 - 1 電 話：0857 (59) 0585 FAX：0857 (59) 1237 〕</p>	普通	単一障がい	入学志願書
			重複障がい	調査書
			訪問 (重度・重複障がい)	注3)
倉吉養護学校 (知的障がい、 肢体不自由)	<p>知的障がい教育部門と肢体不自由教育部門があります。生徒一人一人の的確な実態把握に基づき、体験的活動を通して能力・特性等を最大限に伸ばします。卒業後の生活を見据え、自己肯定感を高め、主体性を育むとともに、自立と社会参加に向けてよりよく生きる生徒の育成を目指します。</p> <p>〔 所在地：倉吉市長坂新町 1231 電 話：0858 (28) 3500 F A X：0858 (28) 1144 〕</p>	普通	単一障がい	入学志願書
			重複障がい	調査書
			訪問 (肢体不自由教育部門) (重度・重複障がい)	注1) 注3)
米子養護学校 (知的障がい)	<p>一人一人の能力や可能性を伸ばすために、生徒の実態に応じた学習を行っています。作業学習や産業現場等における実習を通して、社会生活や働くために必要な力の育成に努めています。</p> <p>また、表現活動の学習を通して自己表現力、主体性、自己肯定感の育成に力を入れるとともに、校内カフェを活用しての学習など特色ある教育活動を行っています。</p> <p>〔 所在地：米子市蚊屋 343 電 話：0859 (27) 3411 FAX：0859 (27) 3420 〕</p>	普通	単一障がい	入学志願書
			重複障がい	調査書 注3)

注1) 鳥取聾学校、倉吉養護学校（肢体不自由教育）においては、医師の診断書、または身体障害者手帳の写しを提出してください。

注2) 鳥取養護学校、皆生養護学校においては、医師の診断書、個別の教育支援計画の写しを提出してください。

注3) 白兔養護学校、倉吉養護学校（知的障がい教育）、米子養護学校においては、知的障がいを有することを証明するために、以下の書類が必要な場合があります。

療育手帳の写し、または、次の3つの書類（①医師の診断書の写し ②申告書 ③個別の教育支援計画の写し）

県立琴の浦高等特別支援学校を受検する皆さんへ

琴の浦高等特別支援学校は、平成 25 年 4 月に開校した高等部だけの特別支援学校です。

この学校は、知的障がいのある生徒を対象としており、2つの職業学科と6つの専門コースを設けて、就職に向けた専門的な教育を行います。

以下に、この学校の概要と入学者選抜検査等について紹介していますので、自分に合った学校を選択するための資料としてください。また、詳しいことは、入学者選抜実施要項でご確認ください。(8月中に発行予定)

県立琴の浦高等特別支援学校選抜の流れ

	日程	内容	備考
一般 入学者選抜	令和 8 年 11 月 4 日 (水) ～ 6 日 (金)	入学志願書受付	
	令和 8 年 12 月 1 日 (火) ～ 2 日 (水)	選抜検査	
	令和 8 年 12 月 8 日 (火)	追検査	
	令和 8 年 12 月 17 日 (木)	合格発表	
	令和 9 年 1 月 5 日 (火) まで	入学確約書提出	入学には入学確約書の提出が必要ですのでご注意ください。
再募集 入学者選抜	令和 9 年 1 月 7 日 (木) ～ 8 日 (金)	入学志願書受付	募集定員に満たない場合に実施します。
	令和 9 年 1 月 15 日 (金)	選抜検査	
	令和 9 年 1 月 21 日 (木)	合格発表	
	琴の浦高等特別支援学校長が定める日まで	入学確約書提出	入学には入学確約書の提出が必要ですのでご注意ください。

※受検予定者は、必ず体験入学と志願者対象相談会の両方に参加してください。

県立琴の浦高等特別支援学校の特色と入学に関する検査内容等一覧

学校の特色・求める生徒像 〔所在地、電話・FAX 番号〕	学科名	検査内容	提出書類
<p>キャリア教育に重点を置き、地域の中で職業的に自立するとともに、主体的に社会参加し社会に貢献できる人の育成を目指しています。農業、食品製造、物品の管理等を学ぶ「生産流通科」と、介護や接客サービス、ビルクリーニング、パソコン等を使った仕事を学ぶ「サービスビジネス科」の2学科6コースを設けています。将来の就労や社会参加に向け目的意識を持ち、仲間とともに切磋琢磨しながら学ぶ意欲のある人を求めます。</p> <p>〔所在地：東伯郡琴浦町赤碕 1957-1〕 電 話：0858 (55) 6477 F A X：0858 (55) 6466</p>	<p>生産流通 サービスビジネス</p> <p>※ただし、入学者募集においては、くくり募集(学科ごとではなく、複数の学科等をまとめて募集する方法)を行います。募集定員は、1学年 40 名です。</p>	<p>学力検査 適性検査 作文 面接</p> <p>※学力検査については、知的障がい者である生徒に対する教育を行う特別支援学校中学部段階における各教科(外国語を除く)の内容を総合的に取扱います。</p>	<p>入学志願書 調査書</p> <p>※知的障がいを有することを証明するために、以下の書類が必要な場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●療育手帳の写し、または、次の3つの書類 ①医師の診断書の写し ②申告書 ③個別の教育支援計画の写し

《県立特別支援学校入学者募集及び選抜に係る個人情報を開示します》

☆開示する個人情報…調査書、学力検査及び適性検査の得点、作文、面接の結果を開示します。

☆開示の時期…一般、再募集それぞれの合格発表以後に開示します。

開示の手続については、県立高校入試に係る個人情報開示と同様です。

高等学校等での奨学金制度等について

1 県立高等学校授業料に対する支援制度（令和8年7月現在）

(1) 高等学校等就学支援金

ア 制度の概要

日本国籍を有する場合（外国籍保有者は永住等の在留資格を有するなどの支給要件を満たす場合）は、申請を行うことで国から就学支援金が支給され、県が代理受領することにより、受給資格のある生徒の保護者の皆様には実質的な授業料の負担はありません。（令和8年度から所得制限が撤廃されました。）

なお、不受給の申し出をされた方については、授業料が徴収されます。

イ 対象者（次のすべてに該当する方）

- 県立高等学校の全日制課程、定時制課程及び通信制課程に在学している者。（聴講制度による聴講料は対象外。）
- 平成26年度以降の入学者。

ウ 受給資格

- 日本国籍を有する者。
 - 外国籍で支給要件（※特別永住者、永住者等、定住者、家族滞在等）を満たす者。
- ※区分ごとに要件及び提出が必要な書類が異なります。

(2) 高校生等・新修学支援金

就学支援金の支給要件を満たさない一部の外国籍の生徒を対象とする「鳥取県公立高等学校高校生等・新修学支援金」制度ができました。

本制度の申請を行うことで、就学支援金制度と同等の授業料に対する支援を受けることができます。

※本制度の対象者には、各学校よりご案内します。

【就学支援の対象】

- 対象となるのは「**授業料**」のみです。次のような経費は「**授業料**」に含まれません。

- 入学料 ● 入学選抜手数料（受検料） ● 教科書代 ● 修学旅行費
- 諸経費* など、「**授業料**」以外のすべての経費

※諸経費とは、生徒会費やPTA会費などで、学校ごとに異なります。概ねの経費は鳥取県教育委員会事務局高等学校課ホームページ（<https://www.pref.tottori.lg.jp/87664.htm>）に掲載していますが、詳しくは各学校にお問い合わせください。

【その他】

- 特別支援学校高等部（琴の浦高等特別支援学校を含む。）については、授業料は不要です。
- 私立高等学校については、就学支援金制度が適用されていますが、運用は各学校、家庭の状況によって異なりますので、各学校にお問い合わせください。

2 教材費等給付金（鳥取県高校生等奨学給付金）について（令和8年7月現在）

(1) 趣旨

高等学校等に通う低中所得世帯・生活保護世帯に対して、授業料以外の教育費に充てるため、世帯構成等に応じて、給付金を支給します。（給付のため、返還の必要はありません。）

(2) 対象者（次のすべてに該当する方）

- 保護者、親権者等が鳥取県内に在住。
- 就学支援金支給対象である学校（高等学校、高等専門学校（1～3年生）、専修学校高等課程等）に在学している者。（特別支援学校高等部生徒を除く。）
- 平成26年度以降の入学者。
- 次のいずれかに該当する世帯。
 - ①生活保護法による生業扶助受給世帯
 - ②保護者等の道府県民税及び市町村民税所得割額の合算額（以下、「所得割額合算額」という。）が182,500円未満の世帯（世帯年収目安約490万円未満世帯）【家計急変による経済的理由から対象世帯相当と認められる世帯を含む。】

(3) 支給額等

支給対象者			支給額(年額)	申請に必要な添付書類
生活保護受給世帯 (通信制在学者も同額)		国公立	32,300円	生活保護法による生業扶助を受給していることを証する書類 保護者等の課税証明書等
		私立	52,600円	
所得割額合算額非課税世帯 (年収目安 270万円未満)	通信制の 高等学校等	国公立	50,500円	
		私立	52,100円	
	通信制以外の 高等学校等	国公立	143,700円	
		私立	152,000円	
所得割額合算額が 105,500円未満の世帯 (年収目安 270万円以上 380万円未満)	通信制の 高等学校等	国公立	16,830円	
		私立	17,370円	
	通信制以外の 高等学校等	国公立	47,900円	
		私立	50,670円	
所得割額合算額が 105,500円以上 182,500円未満の世帯 (年収目安 380万円以上 490万円未満)	通信制の 高等学校等	国公立	12,630円	
		私立	13,030円	
	通信制以外の 高等学校等	国公立	35,930円	
		私立	38,000円	

* 問い合わせ先は、鳥取県教育委員会事務局人権教育課育英奨学室(0857-26-7541)です。
* 申請方法は、電子申請となっています。詳しくは育英奨学室ホームページに掲載予定ですので、ご確認ください。

3 鳥取県育英奨学資金(高等学校等奨学資金)(令和8年7月現在)

(1) 概要

申請資格	対象学校	高等学校、高等学校に相当する外国の学校のうち県教育委員会が認めたもの、高等専門学校、特別支援学校の高等部、専修学校の高等課程
	学力基準	修学に対する意欲があり、性行が正しいこと。
	所得基準	世帯の年間所得が所得基準以下であること。「(2) 所得の上限額について」を参照)
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が県内に住所を有していること。 鳥取県から他の奨学金の貸与又は給付を受けていない者。(教材費等給付金との併給は可能です。) 鳥取県以外の者から、同種類の奨学資金であって鳥取県育英奨学資金の貸与月額以上の無利子の貸与又は給付を受けていないこと。 ※詳しい要件は、鳥取県教育委員会事務局人権教育課育英奨学室(0857-29-7145)までお問い合わせください。
貸与月額	国公立：18,000円(自宅通学) 国公立：23,000円(自宅外通学) 私立：30,000円(自宅通学) 私立：35,000円(自宅外通学)	
貸与方法	貸与を認めた月から正規の修業年限まで金融機関の本人口座に振り込みます。	
返還方法	貸与終了後15年以内(退学・辞退等の場合は10年以内) 無利子で半年賦・月賦により返還(返還方法は口座振替のみ)	
猶予制度	大学等への進学、災害、傷病等の場合は、申請によりその期間の返還が猶予されます。	
申込方法	<ol style="list-style-type: none"> 高等学校等入学前の申込(予約採用) 入学前に奨学資金を予約する制度です。進学する前年の秋に中学校の奨学金窓口申し出てください。(9月18日申込締切) 高等学校等入学後の申込(在学採用) 春に高等学校等で奨学生の募集を行います。(令和9年4月下旬申込締切) 緊急の申込(緊急採用) 家計が急変(主たる家計支持者の失職・病気・事故・会社倒産・死別又は離別・災害等)し、奨学金を緊急に必要とする場合や年度途中で新規に入学し奨学金を希望する場合は在学している高等学校等の奨学金窓口にご相談ください。 なお、県外の高等学校等へ進学された場合の申込方法については、鳥取県教育委員会事務局人権教育課育英奨学室(0857-29-7145)へ相談してください。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 奨学資金の申込に当たり、連帯保証人と保証人(生計が別で同居していない者)が必要です。 奨学資金の返還を怠ったときは、一年につき3%の延滞金が加算されます。 長期滞納となった場合は、法的措置をとる場合もあります。 	

(2) 所得の上限額について

【所得基準の例】

世帯形態	所得金額
○子どもが1人の3人世帯の場合	790万円程度
○子どもが2人いる4人世帯の場合	
●弟又は妹が中学生の場合	830万円程度
●兄又は姉が大学生（私立で自宅外通学）の場合	960万円程度

* 所得金額（所得税の所得）は、世帯全員の前年1年分を対象とします。

* 所得基準は、家族構成・通学状況・その他特別な事情により考慮されます。詳しくは鳥取県育英奨学生（高等学校等奨学資金）募集要項をご覧ください。

4 母子父子寡婦福祉資金（就学支度資金、修学資金）（令和8年7月現在）

区分		就学支度資金	修学資金				
申請資格	対象学校	高等学校、高等専門学校、特別支援学校の高等部、専修学校の高等課程					
	資格	母子家庭の母、父子家庭の父（扶養する生徒が対象学校に入学する場合）または生徒本人、父母のない生徒					
貸与額	(右記の貸付金額は上限額を記載しています。実際の貸付金額は必要額と返済の見通しによって決定します。)	○就学支度資金		○修学資金（月額）			
		(単位：円)		(単位：円)			
		区分	限度額	区分	限度額		
		国公立の高校・高専・専修（高等）	自宅	150,000	高校・専修（高等）	国公立 自宅	27,000
			自宅外	160,000		自宅外	34,500
私立の高校・専修（高等）	自宅	410,000	私立	自宅	45,000		
	自宅外	420,000		自宅外	52,500		
高専		国公立	自宅	31,500 (67,500)			
※()内は4年次以降の貸付限度額		自宅外	33,750 (76,500)				
		私立	自宅	48,000 (98,500)			
		自宅外	52,500 (115,000)				
返還方法	返還期間	5年以内		20年以内			
	据置期間	卒業後（大学等へ進学した場合は大学等卒業後）6ヶ月間					
	返還方法	貸与終了、据置期間経過後、無利子で年賦・半年賦・月賦により返還					
申込方法		市町村への申請となります。お住まいの市町村役場・福祉事務所にお問い合わせください。（三朝町は中部総合事務所県民福祉局、大山町は西部総合事務所県民福祉局にお問い合わせください。）					
その他		借主は、母、父または生徒になります。					

5 県立高校入学選抜手数料及び入学料の減免について（令和8年7月現在）

(1) 趣旨

火災、風水害等の非常災害により資産が著しく損なわれた場合、事由が発生して1年以内に実施する入学選抜検査に係る手数料及び1年以内に納付すべき入学料（事由発生から1年以内に合格者の発表があり、納付する入学料を含む）を全額免除とします。

なお、東日本大震災、熊本地震、平成30年7月豪雨、令和元年台風19号及び令和2年7月豪雨、令和6年能登半島地震に伴い、被災地域から鳥取県内に避難している者のうち、対象者に該当し減免を申請する者は、当分の間、県立高校入学選抜手数料及び入学料を全額免除することとします。

(2) 対象者（次のいずれかに該当する者）

- 従来住んでいた家が一部損壊以上の被害を受けた者
- 福島県に居住していた者（東日本大震災による被災者のみ）

なお、免除申請を希望される場合は、入学選抜手数料及び入学料を納付する前に中学校または鳥取県教育委員会事務局高等学校課（0857 - 26 - 7929）にお問い合わせください。

<表紙写真> 倉吉総合産業高等学校

左：工業学科機械科「T I G溶接によるアルミニウム溶接実習」の様子

アルゴンガスを使用し、約1万°Cのアーカ熱によってアルミニウムを接合する技術を学びながら、正確で美しい溶接ができるよう実習に取り組んでいます。

右：工業学科電気科「電気工事に関する技能実習」の様子

配線や器具の取り付けなど、電気工事に必要な技術を学びながら、国家資格の取得にもつながるよう、正確さと安全性を意識し、実技練習に取り組んでいます。

令和8年7月発行

鳥取県教育委員会事務局

高等学校課 TEL 0857(26)7916・FAX 0857(26)0408

特別支援教育課 TEL 0857(26)7575・FAX 0857(26)8101